第四十五卷

第五 册

第五百二十三號

昭和四十七年七月一日發行

| 東洋哲學の社會學的考察 🖯 … 向マックス・ウェーバーにおける | 藝術と言語 吉 |
|---------------------------------|--------------------|
| 井 | 岡 |
| | 健 |
| | erandr Respondr |
| 守· | 與 |
| | 的考察 臼 … 向 井における |

京 都 文 學 大 學

部 内 京都市左京区吉 高 都大学文学部 京区吉田本 京 都 哲

国語学国文学研究室

京都哲學會規約

一、右の目的のために左の事業を行うことを目的とする一、本會は廣義における哲學の研究とその普及を圖る

委員は京都大學文學部哲學科教官及び委員會におい一、本會の事業を遂行するために委員若干名をおく | 隨時研究會を開く

毎年公開講演會を開く

毎月一回會誌「哲學研究」を發行する

、本會は會員組織とし會員には資格の制限を設けない、本會に贊助員若干名をおく、贊助員は會員の中かて推薦したものに委嘱する

、會員は會誌の配布を受け會誌に豫告する諸種の行但し 二回又は三回に分納することもできるを含む)を前納する

、會員は會費として年三、六〇〇圓(會誌十二冊分

會することができる

學校・圖書館・其他の團體は團體の名を以て入

、本會は事務所を京都大學文學部内におく

規約の改正は委員會の決定による

事に出席することができる

者 **哲學 會**

吉湯山森本武松藤服野中辻武園淸木梶柿大井石池

京都哲學會役員

1 注

拙稿「芸術学についての一考察」『哲学研究』五二〇号

前号論文目次 キリスト教の意義へーゲル哲學における 近代哲學の根本構造…有 福 孝 岳 譯 カントの動機論………若 中W 松 謙

(筆者

京都大学文学部〔美学美術史学〕助教授〕

次号論文予告 記述理論形成の過程……野バートランド・ラッセルの 在りて在る者………山 ——アウグスティヌスによる Exod. 3, 14 解釋 本 和 晶 幸

三五

、本會は會員組織とし會員には資格の制限を設けま 告 昭和四十七年七月

又會員への會誌送付、バックナンバー購入及び發賣 哲學會)宛に規定の會費(年三、六〇〇圓又は半年 學部內京都哲學會(振替口座京都四〇三九番 京都 せん、入會希望の方は京都市左京區吉田京都大學文 一、八〇〇圓)をお拂込下さい

、會費切れの場合は封筒に「前金切」の印を捺しま 社(振替口座東京九二四七二番)宛に願います は半年分)、會費は原則として本誌十二冊(又は六 すから直ちに京都哲學會宛御拂込下さい(一年分又 に關する一切は東京都千代田區一番町一七番地創文

賣

捌

所

會株

社式

創

文

社

、本誌の編集に關する通信・新刊書・寄贈雑誌等は 、會員の轉居・入退會の事務及び編集事務の一切は 本會宛にお送り下さい 京都哲學會宛に御通知下さい の事情による過不足は一年(又は半年)毎に清算し 冊)の送付濟を以て前金切れとし、會費の變更其他 京 都 京都大學文學部京都市左京區吉 内田

> 昭和四十七年六月二十五日印刷 一 日發行

編集代表 都 大 都 曾 學文 好 學 壆 部 内會 能

發編

行集

人兼

京 京

電話東京二六三—七一〇一(代表) 摄 替 口 座 東 京 九二四七二 東京都千代田區一番町一七番地 光 井 印 理 刷 津 所

印

刷

Đĩ

東京都豐島區高田一一一二一一四

文 規 定

註

一、會員以外の購讀者の御註文及び廣告掲載に關する

一、本誌の御註文はすべて代金送料共(一部、定價三 件は「創文社」へ御申込下さい 五〇圓、送料・四〇圓)前金にてお送り下さい

定價 三五〇四

THE JOURNAL OF PHILOSOPHICAL STUDIES

THE TETSUGAKU KENKYU

Vol. XLV July, 1972 No. 5

Die Kunst und die Sprache Kenjiro Yoshioka

Die soziologische Betrachtung Max Webers

über die asiatische Philosophy...... Mamoru Mukai

Inductive Logic and Probability Soshichi Uchii

Published Monthly by

THE KYOTO PHILOSOPHICAL SOCIETY

(The Kyoto Tetsugaku-Kai) Kyoto University

Kyoto Japan